

2021年度

# 入学試験要項

Hokusei Gakuen University  
北星学園大学

Hokusei Gakuen University Junior College  
北星学園大学短期大学部



〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号  
【入試課】 Tel 011-891-2731 (代表)

## 目 次

●北星学園大学		●北星学園大学短期大学部	
アドミッションポリシー(入学者受入方針)・	2	アドミッションポリシー(入学者受入方針)・	3 5
入学定員と募集人員・	5	入学定員と募集人員・	3 6
一般選抜要項・	6	一般選抜要項・	3 7
大学入学共通テスト利用選抜(Ⅰ期)要項・	1 1	大学入学共通テスト利用選抜(Ⅰ期)要項・	4 2
大学入学共通テスト利用選抜(Ⅱ期)要項・	1 6	大学入学共通テスト利用選抜(Ⅱ期)要項・	4 6
総合型選抜要項・	2 1	総合型選抜(Ⅰ期)要項・	5 0
学費・諸納付金・	2 7	総合型選抜(Ⅱ期:自己推薦型)要項・	5 4
学修計画書計画課題・	2 8	学費・諸納付金・	5 8
総合型選抜事前課題・	3 1	●大学・短期大学部共通	
		試験場案内図・	6 1

### 個人情報の取り扱いについて

本学では、「北星学園大学 学生の個人情報の保護に関する規程」を制定し、学生の個人情報の保護に努めています。

このたびの入学試験出願に伴い提出していただく各種書類の個人情報につきましては、本学の個人情報保護規程に準じて、慎重に取り扱いをいたします。提出された個人情報は、入学試験の実施及び個人を特定しない形による統計的資料作成に使用します。なお、合格・入学された方については、入学手続等に係る案内や入学後の学籍管理情報としても使用いたします。

# 2021<sup>年度</sup> 入学試験要項

## 大学

一般選抜

---

大学入学共通テスト利用選抜  
(Ⅰ期 / Ⅱ期)

---

総合型選抜

## 北星学園大学 アドミッションポリシー（入学者受入方針）

本学は、プロテスタントキリスト教の信仰と伝統に立って、札幌の地に歩みを続けてきた学校法人北星学園が設置する大学です。北星学園の教育の源は、1887年、米国の女性宣教師サラ・C・スミスが「スミス女学校」を開設し、北海道の女子教育に着手したことに遡ります。1962年、社会の要請に応え男女共学の4年制大学を開設しました。

北星学園大学の建学の精神は、キリスト教による人格教育を基礎とし、広く教養を培うとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、応用的能力を發揮させることを目的としています。高き教養と人格の確立をめざした本学の教育は、多くの有為な人材を世に送り出し、社会の高い評価を得て今日に至っています。

北星を支えるキリスト教精神は、自己を何によって育てるか、自己の一番深いところまで問い続け、考えることにあります。人間としての基本的なあり方と姿勢を問い続けることで、自らの生き方を探し、実践していくことを大切にします。知性と豊かな人間性を備えていることはもちろん、地域社会の諸情勢やその問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わりながら人々とともに生きる姿勢や心を持つような人を求めています。

### 学部・学科の特色と求める学生像

#### 【文学部】

文学部では、人間社会の基本となる「ことば」を重視し、その学習を礎としながら、文化、文学、コミュニケーション、心理学、国際関係へと学びを拡げます。英文学科では英語に、心理・応用コミュニケーション学科では日本語に重きを置いています。両学科ともに、1) 作品、資料、現場などの情報源から問題の本質を見極める洞察力、2) 自分自身の考えを組み立てる論理構成能力、3) 自分の考えを他者にわかりやすく伝える情報発信能力を育むため、きめの細かいカリキュラムを整備しています。しかし、主役はあくまでも学生諸君です。我々は、目的意識を持って自主的に学ぶ姿勢を備えた人を求めています。

#### 〔英文学科〕

英文学科では、一般選抜のほか、大学入学共通テスト利用選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・帰国生徒・外国人留学生）、編入学者選抜等、多様な選抜制度を設け、様々な背景・能力を持つ学生に門戸を広げている。

カリキュラムの特徴として、ネイティブスピーカーによる基礎教育を始めとして、英語で行われる授業が多いため、入学前に英文を正しく理解するための文法力や語彙力、リスニング力、英語での表現力を付けておくことを求めている。

さらに、卒業研究が必修となっているため、多面的な思考能力とともに論理的思考を持ち、研究論文の作成ができるだけの潜在能力のある人、問題意識を持って主体的に学修を進めることができる資質を持った人を求めている。

#### 〔心理・応用コミュニケーション学科〕

人の心や思考の仕組みに興味・関心のある人、心理学に興味・関心を持っている人、社会の仕組みや実態を知りたい人、言葉で世界を広げたい人、自らの頭で考え行動して自分を表現したい人、人と人との壁を崩し活きたコミュニケーションを実践したい人など、意欲と行動力に溢れ自分の可能性を試したい人を求めている。

従って、入学前に、英語や日本語などコミュニケーションツールとしての語学力を高め、実用英語技能検定、日本漢字能力検定などの公的検定試験にも挑戦してほしい。さらに、書籍や映画などさまざまなメディアにアクセスし、文化や社会の動き、多くの人々の経験について触れてほしい。

なお、心理・応用コミュニケーション学科では一般選抜に加えて、大学入学共通テスト利用選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・帰国生徒・外国人留学生）など、多様な選抜方法を設けている。

#### 【経済学部】

経済学部では、基礎的知識の獲得と経済社会の変化に対応できる力の向上を目指した経済学教育を進めており、経済学科、経営情報学科、経済法学科の3つの学科を設置しています。どの学科も経済学を基盤に据えたカリキュラムの展開を行うことによって、見識豊かな産業人、公務員など多様な人材の育成を目指しています。それ故、知的好奇心が旺盛で、且つみずからの将来を主体的に切り拓いていこうという志を持った若者の入学を期待しています。

### 〔経済学科〕

経済学科では、経済学的思考とグローバルな視座を身に付けることで教養と思考力を具えたジェネラリストたらしめる知的好奇心と、経済を通して広く社会全体を視野に入れて自らの将来像を思い描く意欲と、両方を持ち合わせる学生を求めている。

経済学科での学びに対応するために、学びに対する基本的な姿勢と読解力をはじめとした基礎学力を身に付けてくることを入学者に求めている。

### 〔経営情報学科〕

経営情報学科では、経営、情報、マーケティング、会計の専門的な知識や技能を駆使し、企業経営の様々な場面で自らのアイデアを具現化することで、豊かな社会の創造に寄与できる人物の育成を目標としており、カリキュラムでは「学科実践能力科目」を設置し、少人数のゼミナール形式や産学協働も含む実習形式の学習を多く取り入れる等、実践性の高い内容となっているため、高等学校卒業程度の情報や経済についての知識を有した以下のような人を求めている。

1. 広く国内外の企業経営に関連する情報に深い関心を持ち、そこで起きている問題や課題について、多面的かつ論理的思考ができる人。
2. 積極的に企業経営における課題解決のために行動し、多様な人々と協働しつつ、その課題解決に参加していきたいという積極的な思考を持っている人。
3. 企業経営上の課題解決のために必要な新しい技術やスキルに関心を持ち、その応用に興味のある人。
4. 上記1～3のような人物を社会に輩出すべく、子供たちの教育にたずさわる意欲のある人。また、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。

### 〔経済法学科〕

経済法学科では、経済学と法律学のコアとなる知識とスキルを確かなものとし、それを基盤としたより高度な専門知識を身につけるとともに、経済や法律にかかわる幅広い社会・経済活動に不可欠な実践的な能力と職業上の倫理観を形成する。そのために経済法学科では、高校卒業程度の経済と法についての知識を有した次のような人を求める。

1. 人権と多様性を尊び、国の公共政策や地域のまちづくりにかかわる意欲のある人(公共法政策コース)
2. 様々な経済・社会問題に関心を抱き、経済学的な分析を通じて個人や社会にとって望ましい(合理的な)解決法を見出すことに意欲のある人(経済分析コース)
3. 企業の組織や活動に関心があり、企業における意思決定の仕組みやリスク管理・契約などの法実務を学ぶ意欲のある人(企業法務コース)
4. 経済を巡るおカネの動きや国の財政について関心があり、資金の流れに関与することで社会の発展に貢献していきたい人(金融・財政コース)
5. 正義や権利の価値に重きをおき、法律にかかわる資格の取得や裁判制度に強い関心のある人(法律総合コース)
6. 地理・歴史、公民に興味があり、民主社会の将来の担い手である子どもたちの教育にたずさわる意欲のある人(教職)

また、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。

### 【社会福祉学部】

社会福祉学部では、社会福祉分野及び各種行政部門で、専門職として対人関係サービスに従事する人材を社会に送り出すために、社会福祉学はもとより、社会学、心理学、経済学を含めた隣接領域の専門的な知識や技術の修得を目指します。社会福祉学部には福祉計画学科、福祉臨床学科、福祉心理学科の3つの学科を設置し、それぞれ相互に関連しあう共通の教育課題と目標を持ちながら、社会福祉分野における有為な人材養成を目指して教育に取り組んでいます。

### 〔福祉計画学科〕

福祉計画学科では、「福祉マインド」をもって地域社会で活躍したいと願う人を求めている。また、次の5つのことに興味や興味、または能力を身につけたいと考えている人を受け入れたい。

1. 社会福祉の制度・政策に関する知識と併せて幅広い分野で活躍できる人材となるために、社会学、経済学・法学・教育学系のカリキュラムを学びたい人。
2. 社会福祉政策の実施に際し、支援を必要としている者のニーズ把握等に関わる知識や技能を得たいと考えている人。
3. 福祉計画学科独自の科目群として、社会保障を中心に、社会福祉に関わる計画・政策・財政・法律・

社会福祉調査・国際比較・コミュニティ・NPO・公的部門の経済活動に関する科目や、地方分権と超高齢社会に対応した地域の福祉計画策定のための科目を学び、社会福祉をメゾ・マクロ的視点から見ることのできる能力を身につけたい人。

4. 5つの体験型・参加型科目（コミュニティワーク実習、海外福祉計画実習、社会福祉調査実習、社会福祉士養成、福祉計画インターンシップ）に関心や興味のある人。
5. ソーシャルスキル（文章作成、プレゼンテーション、コミュニケーションの各能力）を向上させたいと考えている人。

これらに関心や興味があり、能力を身につけ、卒業後は、自治体、学校、社会福祉協議会、非営利団体などで地域住民のニーズにあったサービスを総合的に企画・立案し、福祉のまちづくり、福祉・教育・医療におけるサービスの提供に従事することに関心を持つ人、また、民間企業などで高齢者や障がい者等多くの人に利用されるのにふさわしい商品やサービスを開発・提供する仕事を希望している人を求めている。そのため、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。

#### 〔福祉臨床学科〕

福祉臨床学科では、人権感覚に溢れた理論的・実践的・研究的な社会福祉と教育の専門職養成を目的としており、将来、社会福祉援助を専門的に行っている福祉施設（児童・障害者・高齢者のための施設など）、地域・在宅福祉機関（地域包括支援センター、社会福祉協議会など）、相談機関（福祉事務所、児童相談所など）、保健・医療・教育機関（病院・診療所、学校など）などで活躍できるソーシャルワーカーや、ソーシャルワークに精通した学校教員（中学校や特別支援学校の教諭）として従事することを希望する者を求めている。そのため、子供から高齢者までの多様な人々と接し、人を支援することに強い関心を持つとともに、人権や社会正義に反するような社会的諸状況の解決に向けて努力することができる者を求めている。

本学科に入学を希望する者は、他者や社会に関心を持つことによって自ら問いを発し、それを踏まえて自律的に学習することができるスキルが必要である。また、入学者選抜においては、多様な背景を持つ学生の受け入れを行うとともに、本学入学後の修学支援を整備することによって、本学卒業後には多様な人々の支援を行うことができる実践的な人材の養成を行っている。

#### 〔福祉心理学科〕

福祉心理学科では、本学科の教育目標を理解し学ぼうとする強い意欲があることを前提として、臨床心理学やカウンセリングなど心の問題の実践的分野に関心のある人、幅広く心理学という学問を学びたい人、人との関わり方に関心のある人、心理学の視点を生活や社会のために生かしたい人を求めている。

本学科で心理学を学ぶために、入学前に身につけておくことが求められるのは、論理的な思考力と文章構成力、主題の理解力と表現力、コミュニケーション能力および広い分野の基礎学力などである。

入学者の受入れにあたっては、多様な入学者選抜方法で、多面的な評価尺度を用いて、本学科の教育目標に沿った学習に必要な基礎的な能力と資質を重視して評価・判定する。

## 入学者選抜方法と基本方針

北星学園大学では、一般選抜の他に、大学入学共通テスト利用選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人選抜、帰国生徒選抜、外国人留学生選抜、編入学者選抜を実施しています。多様な入学者選抜方法で、多面的な評価尺度を用いて志願者の能力・資質を適切に評価・判定します。

### （１）一般選抜

一般選抜は、高等学校又は中等教育学校における学習の基本的達成度と論理的思考力を問い、本学で学ぶために必要な基礎的な能力を評価・判定します。また、志願者が志願時に記入した主体性等にかかわる記述に基づき主体性等を評価します。

### （２）大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テスト利用選抜は、広範囲にわたる基礎学力の修得度をみるために、本学独自の試験は課さず、大学入学共通テストのみを課して、評価・判定します。また、志願者が志願時に記入した主体性等にかかわる記述に基づき主体性等を評価します。

### （３）学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、本学への入学実績等から選定した指定校から推薦を受けた志願者を対象に、高等学

校長又は中等教育学校長の推薦書に基づいて行う入学者選抜です。

高等学校又は中等教育学校における学習歴に配慮しており、各学科で評定平均値を設定しています。学習成績のみならず、高等学校又は中等教育学校での様々な活動や成果（生徒会活動、クラブ活動、社会活動：ボランティア活動等、キリスト教の教会活動、その他の評価すべき活動等）も考慮します。事前に示した課題や指定文献に基づく面接・口頭試問（英文学科は面接と小論文）を実施することにより、本学で学ぶ目的・意欲とともに、課題に対する理解力・表現力をみます。

#### （4）総合型選抜

総合型選抜は、本学への入学を強く希望する多様な能力・資質を持つ志願者を対象に、各学科の特性を踏まえた入学者選抜を実施することにより、各学科の特色にマッチした入学生を得るよう努めています。

選抜は1次選考（書類）と2次試験（学力試験）により行われ、本学で学ぶ目的・意欲とともに、文章理解力・表現力・コミュニケーション力を評価・判定します。特に2次試験では、各学科独自の入学者選抜を実施するとともに、面接等を通じて各学科の学びに適した学力および意欲・関心を備えているかを評価・判定します。また、合格者に対しては本学が指定する入学前教育に積極的に取り組むことを求めます。

## 入学定員と募集人員

(人)

学部・学科		入学定員	募集人員						
			一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜 (Ⅰ期)	大学入学共通テスト利用選抜 (Ⅱ期)	学校推薦型選抜	総合型選抜	社会人選抜	帰国生徒選抜、 外国人留学生選抜
文学部	英文学科	113	59	10	3	33	6	2	若干名
	心理・応用コミュニケーション学科	90	43	8	2	23	12	2	若干名
経済学部	経済学科	152	73	12	3	46	16	2	若干名
	経営情報学科	102	48	9	2	27	14	2	若干名
	経済法学科	110	52	10	2	30	14	2	若干名
社会福祉学部	福祉計画学科	85	43	8	2	15	15	2	若干名
	福祉臨床学科	85	41	8	2	17	15	2	若干名
	福祉心理学科	64	30	6	2	14	10	2	若干名

※ 学校推薦型選抜

指定対象校は、学校法人北星学園が設置する高等学校、北海道内の高等学校又は中等教育学校の一部、キリスト教学校教育同盟加盟高等学校又は中等教育学校の一部、キリスト教主義高等学校又は中等教育学校の一部です。

対象校名、推薦基準及び募集要項については、全て該当する高等学校又は中等教育学校へ直接通知のため、非公表としています。